

令和3年度

事業報告書



社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

令和3年度網走市社会福祉協議会事業報告書

はじめに

令和2年1月より続いている新型コロナウイルス感染症によって、本会が行なう地域福祉事業及び介護保険事業において、人との接触を避ける機会が増えたことが影響し、様々な支障をきたしました。

地域福祉事業を中心とする社協事業につきましては、コロナ禍の影響があったことは否めませんが、当年度から5年間の期間とする「第7期地域福祉実践計画」を基調として、地域福祉への理解や意識を高め、地域住民や関係団体等と連携し、地域における多様な福祉活動を推進し、地域の福祉力を高めるよう努めてまいりました。

また、介護事業においては、老人デイサービスセンター等において、コロナ禍の影響によって新規利用者の獲得に苦戦したこと等の影響で、非常に厳しい運営状況となりました。

一方、生活福祉事業においては、コロナ禍の影響を受けて、生活に支障を来す方の相談が昨年より続いています。また、北海道社会福祉協議会による新型コロナウイルス感染症の影響により休業等で収入が減少した世帯への貸付を受託し、多くの貸付を行ないました。

I. 地域福祉事業の推進

1. 網走市地域福祉会議の開催

網走市における地域福祉推進を図るために、多様な関係機関の情報共有の場として、網走市地域福祉会議を開催しました。

■代表者会議

開催日時	◆第1回：令和3年8月24日 出席者：網走市4名、包括2名、町連1名、老連1名 生活支援コーディネーター1名、社協5名 ◆第2回：令和4年3月18日 書面協議
------	--

■事務担当者会議

開催日時	◆第1回：令和3年7月8日 出席者：網走市6名、包括3名、民児連1名、町連2名、老連1名 生活支援コーディネーター1名、社協2名 ◆第2回：令和4年2月2日 書面協議
------	--

2. 出前講座事業

地域住民の福祉への理解を推進していくため、社協職員等が地域へ出向き講話や体験学習に取り組みました。

事業実績	実施回数（依頼実績）33回／受講人数1,036名 延べ派遣職員数49名／延べ協力者58名
------	---

※令和2年度実績 実施回数（依頼実績）32回／受講人数1,002名
延べ派遣職員数47名／延べ協力者48名

3. 日常生活のちょこっとお手伝い事業

日常生活を営むのに支障があり支援が必要な高齢者や障がいのある方等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、日常生活の中で起こる軽微な困りごとの解消を、住民参加型による有償の相互支援活動で行う事業を、令和3年6月1日より実施しました。

■登録会員数

会員区分	利用会員	サポーター会員	合計
会員数	15名	67名	82名

■相談・事前打ち合わせ件数

年 度	相談件数	事前打ち合わせ件数
令和3年度	85件	16件

■活動内容集計

活動内容	回 数
ゴミの分別	4
電球交換	1
部屋の模様替え（軽い家具の移動等）	0
衣類の整理	2
簡単な掃除（生活空間以外の掃除：掃除機がけ、仏壇、窓ふき、換気扇等）	76
安否確認	0
洗濯作業（洗濯・洗濯物干し・洗濯物取り込み等）	0
買い物代行	41
ペットの世話や環境整備	0
書類の代読	0
代読・代筆（自筆が必要なものは除く）	0
書類の確認・作成	0
お話相手	15
病院への薬取り	0
市役所等への書類提出の代行	1
その他（要相談：対応可能なものに限る）	3
合 計	143

■支え合いサポーター養成研修

開催日時	第1回：令和3年 4月28日	参加者：17名	サポーター登録17名
	第2回：令和3年 6月21日	参加者：18名	サポーター登録18名
	第3回：令和3年 7月 8日	参加者：14名	サポーター登録14名
	第4回：令和3年10月10日	参加者： 8名	サポーター登録 8名
	第5回：令和3年10月29日	参加者：11名	サポーター登録11名

新型コロナウイルス感染症対策として、サポーター養成研修受講者へ「マスク、手指消毒液」を配布

4. ボランティアセンター活動実績

網走市のボランティア活動推進のため各種事業に取り組みました。

■ボランティア登録幹旋事業

【ボランティア登録者数】

登録区分	会員数						差異
	令和3年3月31日時点			令和4年3月31日現在			
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
個人	62名	170名	232名	62名	159名	221名	△11名
団体	309名	702名	1,011名	304名	621名	925名	△86名
合計	1,243名			1,146名			△97名

【ボランティア幹旋数】

実 績	幹旋回数：7回、活動実人数：15名、活動延べ人数：15名
-----	------------------------------

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、定期的な活動や施設からのボランティア依頼が大幅に減少しました。

■ボランティア講座「つながろう講座」

ボランティア・市民活動への理解と担い手育成を目的としたボランティア講座を開催しました。

詳細	<p>日 時：令和3年10月30日 場 所：潮見コミュニティセンター 講 師：ワークショップデザイン describe With 代表 高橋優介 氏 内 容：講演「SDGsから考えるまちづくり」 ワークショップ「SDGs de 地方創生ゲーム」 参加者：22名、事務局2名</p>
成果	<p>・SDGsの基礎知識を学ぶことができた。また、自分自身が実施している活動が何らかのSDGsの目標に関連している事も気づけたと感じる。 結果、今後の活動における意欲の向上へと繋がることできた。</p>

■ヤングボランティア育成事業の開催

若い世代のボランティア活動者の育成及び確保を目的とした研修会等を開催しました。

詳細	<p>①ヤングボランティア育成事業 担当教諭会議 日 時：令和3年7月19日 参加者：桂陽高校 小野塚、南高定時 鹿原、事務局3名</p>
----	---

詳細	<p>②企画会議（高校生の発案により開催） 日 時：令和3年11月6日 参加者：高校生10名、学校教諭4名、ヤンボラ OBOG 5名、社協2名</p>
----	---

詳細	<p>③高校生が考える！作る！披露する！クリスマス交流会 日 時：令和3年12月18日 参加者：子ども31名、保護者21名、高校生24名 学校教諭4名、ヤンボラ OBOG 4名、社協4名</p>
成果	<p>・普段のボランティアとは違う、自ら企画、準備、運営というプロセスは高校生にとって良い経験となったと感じる。</p>

詳細	<p>④ヤングボランティアスキルアップ研修会 日 時：令和4年1月12日 内 容：笑い文字初級講座 講 師：笑い文字普及協会 上級講師 鴻巣 知香子 氏 参加者：高校生13名、学校教諭4名、社協4名</p>
成果	<p>・笑い文字を習うだけでなく、「ありがとう」という言葉の意味などもお話いただけることにより、感謝の気持ちを持つ大切さも学ぶことができた。 ・笑い文字は今後、様々な訪問活動で役立てていただけると感じた。</p>

■市民参加促進事業「つながろう！市民誰でも清掃活動」

地域住民が参加しやすい清掃活動を通じて、ボランティア育成を図ることを目的としています。

開催日時	<p>第1回：令和3年 5月15日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止 第2回：令和3年 7月17日 参加者66名 第3回：令和3年10月16日 参加者58名</p>
------	---

■ボランティア情報誌「夢ポケット」の発刊（年6回偶数月15日発刊）

定期的にボランティアの情報を発信するためにボランティア情報誌を発刊し、登録ボランティア及び市内公共施設へ郵送しボランティアの推進を図りました。

発行部数：630部

■お話広場えがおの開催

幅広い世代間の交流、障がいの有無を問わない誰もが気軽に集える場を提供することで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目的としています。

開催日時	◆毎月第2・第4火曜日 11:00～15:00 会場：網走市総合福祉センター 【令和3年度実績】 開催回数：15回 来場者：1日平均約20名 運営協力：市民活動サポーター、登録ボランティア（保健師、看護師）
------	--

※買い物困難者対策や参加促進を目的に「野菜販売」を行いました。

※高齢者の健康維持を目的に「脳年齢・血管年齢測定器」を西コミセンから借りて行いました。

■市民活動サポーターの設置

網走市社会福祉協議会の事業への協力及びボランティア活動者のサポートとして、市民活動サポーターを設置しています。

内容	市民活動サポーター人数：7名 ①定期ミーティングの開催 毎月第1水曜日 11:00～12:00 ②お話広場えがおの運営 ③情報誌夢ポケットの発送準備 他
----	---

■災害ボランティアセンター 3者協定連絡会議

網走市、網走青年会議所、網走市社会福祉協議会の3者は、災害時及び防災活動に関する活動が円滑に運営されるよう連絡会議を開催しています。災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの策定に向けた検討を行うことに決定しました。

内容	第1回：令和3年7月9日／第2回：令和3年8月18日／第3回：令和4年1月14日
----	--

また、網走地区災害ボランティア組織連絡会議に出席しました。

内容	令和3年度網走地区災害ボランティア組織連絡会議 日時：令和3年9月29日 出席者：松野
----	--

■東日本大震災復興の狼煙パネル展示（企業との合同企画）

展示場所：大曲郵便局 展示期間：令和4年2月28日～令和4年3月18日

■ボランティア活動保険の加入促進

網走市では、市民活動やボランティア活動に携わる「ボランティア登録者」に対して、ボランティア活動保険の掛金を全額助成しており、本会で加入受付事務を行いました。

○令和3年度ボランティア保険加入者数（市助成分）1,124人 掛金1人350円

■ボランティア活動に関わる保険加入の受付

- ・ボランティア活動保険【対象：国内における自発かつ無償のボランティア活動】
- ・ボランティア行事用保険【対象：国内で行うボランティア活動に関する各種行事】
- ・福祉サービス総合補償【対象：在宅福祉・地域福祉サービス、介護保険サービス など】
- ・送迎サービス補償【対象：送迎サービス】

■会議等の出席

内容	オホーツク網走マラソン 2021 実行委員会 第1回：令和3年4月7日、第2回：令和3年5月7日 オホーツク網走マラソン 2022 実行委員会 第1回：令和4年1月12日 令和3年度網走市学校支援地域本部事業 実行委員会 第1回：令和3年10月27日、第2回：令和4年2月28日
----	--

■外部研修の参加

内 容	研修名：令和3年度オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム 日 時：令和3年10月14日 参加者：市民活動サポーター 中村、社協 松野
-----	--

■講師対応

内 容	研修名：津別町社協 生活支援サポートセンター事業サポーターフォローアップ研修会他 日 時：令和4年3月1日 内 容：ボランティア事業、日常生活のちょっとしたお手伝い事業等の事業説明他 対応者：山中課長、サポーター 菅原・益子
-----	---

5. 子育てサポートセンター事業（受託事業）

育児の援助を「受けたい方（依頼会員）」と「行いたい方（協力会員）」が会員となり、子育てサポートセンターが仲介して会員同士で支え合う援助事業に取り組みました。

■登録会員数

会員区分	会員数		差異
	R3.3.31 時点	R4.3.31 現在	
依頼会員	159名	143名	△16名
協力会員	90名	90名	0名
両方会員	16名	15名	△1名
合 計	265名	248名	△17名

■活動内容集計

活動内容	回 数
保育施設等の開始前・終了後の預かり	1
学校開始前・終了後の預かり	0
子どもの病気時の預かり	2
児童館の開始前・終了後の預かり	0
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事等の際の預かり	0
親や他の子どもの通院や検診等の際の預かり	2
保護者の就労や求職の際の預かり	69
買い物や外出の際の預かり	6
預かり援助その他	0
自宅や祖父母宅への送迎	12
保育施設等への送迎	30
病院への送迎	0
習い事への送迎	139
学校への送迎	28
親の職場への送迎	100
送迎援助その他	0
合 計 (前年度429回)	389

■相談件数

年 度	件 数
令和元年度	489件
令和2年度	420件
令和3年度	383件

■事前打ち合わせ件数

年 度	件 数
令和元年度	31件
令和2年度	39件
令和3年度	19件

■協力会員講習会

開催日時	第1回：令和3年 5月17日	参加者申込みがなかったため中止
	第2回：令和3年 8月19日	参加者3名
	第3回：令和3年11月18日	参加者2名
	第4回：令和4年 2月15日	参加者申込みがなかったため中止

■会報「あおぞら」発行

実 績	第29号（春・夏号）：令和3年6月15日発行	／ 500部発行
	第30号（秋・冬号）：令和4年1月17日発行	／ 500部発行

■スキルアップ講習会の開催

開催日時	◆第1回：令和3年12月9日	内容：知っておきたい応急手当！！	参加者：9名
	◆第2回：令和4年 3月3日	内容：子どもとの関り方	参加者：5名

6. 生活支援体制整備事業（受託事業）

取組み5年目となる令和3年度においては、前年度に引き続き、第二層の基盤整備（協議体及び生活支援協力員の設置）を図ることを重点目標に進めました。

（1）事業運営体制の充実

①組織内の連携強化

・地区担当職員との情報共有

「生活支援体制整備事業」に関する担当職員との連携を図りながら、「情報共有」「方向性の確認」「進捗状況の確認」等を行い、取組みを進めた。

・外部研修への参加

生活支援コーディネーターが研修会に参加し、他市町村の生活支援コーディネーターとの情報交換等を行った。

内 容	○第3回さわやかふれあいねっと2021（オンライン会議） 日時：令和3年12月13日 内容：「活動事例紹介」「グループワーク（情報交換）」「全体会」
	○支え合いの地域づくり研修（オンライン会議） 日時：令和4年1月25日 内容：「基調講演」「実践報告」「ワークショップ（情報交換）」
	○第4回さわやかふれあいねっと2021（オンライン会議） 日時：令和4年3月11日 内容：「活動事例紹介」「グループワーク（情報交換）」「全体会」

②関係団体・機関との連携体制の推進

・第一層協議体の運営

第一層協議体を担う「網走市地域福祉会議」に対し情報提供を行い、より充実した協議ができるよう取組みを進めた。

【網走市地域福祉会議 事務担当者会議】

回	開催日時	場所	出席者
第1回	令和3年7月8日	総合福祉センター 大集会室	16名
第2回	令和4年2月2日 ※書面協議に変更	—	—

【網走市地域福祉会議】

回	開催日時	場所	出席者
第1回	令和3年8月24日	総合福祉センター 中集会室	14名
第2回	令和4年3月18日 ※書面協議に変更	—	—

・コーディネーター業務

第一層コーディネーター業務として、関係機関と連携を図り取組みを進めました。

取組み	①地域ケア会議への参加：3件 ②相談受付：6件 ③買い物弱者対策（コープ「移動販売車カケル」配車場所の増設調整：3地区） ※市と連携を行い調査や住民との話し合いを重ね調整を行った。 ④関係機関との情報共有及び連携した対応
-----	--

③事業周知

・事業周知の促進

事業内容や取組みの必要性、各地区の進捗状況について、SNSや広報誌等、様々な媒体を活用して住民へ向けた周知を行った。

実施	①社協ホームページ「生活支援体制整備事業」ページへの掲載（随時更新） ②社協フェイスブックへの取組み内容の記事掲載（随時更新） ③社協広報誌「ふれ愛める」（年2回発行）への掲載 掲載：住み慣れた地域で生活していくための豆情報 ＊115号（令和3年7月発行）：地域包括支援センターの紹介 ＊116号（令和4年3月発行）：認知症高齢者の見守り事業の紹介 ④FMあばしりを活用した事業周知（随時実施） 放送：FMあばしり 社協の「ほっと便」内（毎月第1木曜日9：00～9：15）
----	---

（2）第二層の基盤構築

・第二層の運営サポート

各エリア圏域での第二層協議体を設置に向け、自主的な運営につなげられるようエリア圏域の関係者とも協議を行いながら運営のサポートを行った。

また、運営サポートとして、社協職員をエリア担当職員として配置し、第一層生活支援コーディネーターと共にサポートを行っている。

・第二層づくりに向けた地域へのアプローチ

生活支援体制整備事業「第二層の構築」を進めるにあたり、新型コロナウイルスの状況を踏まえ、地域の関係者等と話し合いを重ね、実情を確認しながら、地域の「自主性」「主体性」等、考え方や取組みスピードを大切にしながら取組みを進めました。

【協議体設置状況】※詳細は参考資料①参照

- 地区で協議体または話し合いの場が設立済み： 15地区
- 地区で協議体または話し合いの場の設立を打診中、回答待ち： 6地区
- 地区関係者と協議を行った結果「取り組みは行わない」との回答あり： 8地区

【協議体の会議開催】

- 協議体メンバーを中心とした会議等（開催予定・延期も含む）： 31回
- 地区の関係者等との打合せ： 61回
- ★取り組み： 5回

取り組み内容詳細（■：地区の協議体・話し合いの開催／□：関係者との打合せ等／★：取り組み等）

①西地区（大曲・三眺）

西地区協議体の役目を担う「西地区地域活動推進協議会 高齢者部会」が再編成され、そこが中心となり協議を重ね進めてきました。

取り組み課題を「担い手不足」に設定。地域住民が地域活動に参加し、顔の見える環境づくりを進めることにより、人材発掘へつなげる取り組みを進めています。

主 な 取 組 み	■西地区地域活動推進協議会 高齢者部会 日時：令和3年4月13日 内容：「高齢者部会の活動」「コミュニティカフェの実施検討」等
	□高齢者部会長との打合せ 日時：令和3年6月22日 内容：「緊急事態宣言延長に伴う今後の進め方」等
	■西地区地域活動推進協議会 高齢者部会 日時：令和3年7月28日 内容：「高齢者部会事業計画及びコミュニティカフェの実施検討」等
	□高齢者部会長との打合せ 日時：令和3年9月24日 内容：「今後の進め方」等
	■西地区地域活動推進協議会 高齢者部会 日時：令和3年10月22日 内容：「コミュニティカフェの実施検討」「移動販売車カケルに関する意見集約」等
	□高齢者部会長との打合せ 日時：令和3年12月16日 内容：「今後の進め方」等
	□高齢者部会長との打合せ 日時：令和4年1月21日 内容：「コロナ感染拡大に伴う今後の進め方」等
	■西地区地域活動推進協議会 高齢者部会 ※開催延期 日時：令和4年1月22日 内容：「コミュニティカフェの実施検討」「移動販売車カケルについての意見集約」等
	□高齢者部会長との打合せ 日時：令和4年3月4日 内容：「協議体再開に向けた検討」等 ※4月以降の開催で調整予定。

②北地区

北地区では、コロナウイルスの影響を受け、前年度より活動を休止していたが、地区連会長と協議を行い、状況を踏まえつつ協議体活動を再開することとなった。協議体では、既に抽出された地域課題の再確認を行い、今後の取り組みに向けた意見交換を行いました。

主 な 取 組 み	□地区連会長との打合せ 日時：令和3年9月30日 内容：「協議体再開」「今後の進め方」等
	■協議体「みんなであつながら～や！KITAMACHI 未来」 日時：令和3年10月27日 内容：「今後の取り組み課題の検討」「今後の進め方」
	□地区連会長との打合せ 日時：令和4年3月4日 内容：「協議体の開催について」等 ※3月中に開催を予定していたが4月以降に延期

③向陽ヶ丘地区

向陽ヶ丘地区では、コロナウイルスの影響を受け、前年度より活動を休止していたが、地区連関係者と再開に向けた協議を行い、状況を踏まえつつ協議体活動を再開することとなった。協議体では、構成の再編成を行い、そこが中心となり地域課題の解決に向けた協議を進めていくこととなった。

既に抽出されている地域課題の中から一番多く要望があった「買い物弱者対策」に着手することが決まり、協議体を中心に協議や取り組みを進めている。

主な 取 組 み	<input type="checkbox"/> 地区連会長との打合せ 日時：令和3年4月19日 内容：「地区連の状況確認」「今後の進め方」等 <input type="checkbox"/> 地区連関係者との意見交換 日時：令和3年6月1日 内容：「地区連役員変更に伴う今後の進め方」「意見交換」等 <input checked="" type="checkbox"/> 協議体「地域課題の解決に向けた話し合い」 日時：令和3年8月25日 内容：「取り組み課題の検討」「今後の進め方」等 <input type="checkbox"/> 地区連関係者との打合せ 日時：令和3年11月18日 内容：「移動販売車カケルの配車検討」「今後の進め方」等 <input checked="" type="checkbox"/> 協議体「地域課題の解決に向けた話し合い」 ※開催延期 日時：令和4年1月21日 内容：「移動販売車カケルの配車場所の検討」等 <input checked="" type="checkbox"/> ★地区連関係者への聞き取り調査 日時：令和4年1月24日 内容：「移動販売車カケルの配車場所の検討（聞き取り調査の実施）」等 <input type="checkbox"/> 「移動販売車カケル」配車場所の聞き取り調査 日時：令和4年1月18～19日 内容：「協議体メンバーへの聞き取り調査」 <input type="checkbox"/> 地区連関係者との話し合い 日時：令和4年3月2日 内容：「移動販売車カケルの配車場所の決定と住民への周知について」等 <input checked="" type="checkbox"/> 協議体「地域課題の解決に向けた話し合い」 日時：令和4年3月18日 内容：「移動販売車カケルの配車と住民への周知」「今後の取り組み課題の検討」等 <input checked="" type="checkbox"/> ★「移動販売車カケル」運行チラシの配布 ※4月1日より運行開始 実施：令和4年3月下旬（町内会と連携し、市広報と一緒に配布） 配布：向陽ヶ丘地区・明治区会・文化区会
-------------------	--

④台町地区

台町地区は、令和元年度から継続的に取り組み実施に向けた打診を行っているが、地区連活動が休止しており、着手までは至っていない。今後も継続的に相談をさせていただく。

主な 取 組 み	<input type="checkbox"/> 地区連会長との打合せ 日時：令和3年10月7日 内容：「地区の状況確認」「今後の進め方の提案」等 ※役員と協議をするため時間がほしいとの回答があった。
-------------------	--

⑤鉄南地区

鉄南地区は、地区連を基盤に地域の関係者で構成した協議体「5年後の鉄南地区をきずく懇談会」が中心となり地域課題の解決に向けた話し合いや取り組みを進める予定であったが、コロナウイルスの感染拡大に伴い、思うように協議体が開催できていない。協議体の再開に向け、地区連会長とも協議を行い、進め方を検討していく。

主な 取 組 み	<input type="checkbox"/> 地区連会長との打合せ 日時：令和3年11月22日 内容：「協議体再開に向けた今後の進め方」等 ※令和4年2月中に協議体開催予定 <input type="checkbox"/> 地区連会長との打合せ 日時：令和4年1月27日 内容：「協議体再開に向けた検討」等 ※2月中の開催予定を3月以降に延期 <input type="checkbox"/> 地区連会長との打合せ 日時：令和4年3月4日 内容：「協議体再開に向けた検討」等 ※4月中旬以降の開催を延期
-------------------	---

⑥呼人地区

呼人地区では、「町内会のあり方検討会」を設立し、そこが中心となり地域課題の解決に向けた取組みを進めていたが、コロナウイルスの影響により、思うように話し合いができていない。

状況を踏まえ、再開に向け地区連事務局長とも打合せを行ってきました。

主な取組み	<p>□地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年4月1日 内容：「今後の進め方」等</p> <p>□地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年6月16日 内容：「町内会のあり方検討会の活動状況の確認」等</p> <p>□地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年11月8日 内容：「状況確認」「協議体再開に向けた進め方の確認」等 …地域で町内会の基盤整備を優先し、体制が整ったら生活支援体制整備事業に着手予定。 地域内の進捗状況を踏まえ、市と生活支援コーディネーターに出席を求める。</p>
-------	---

⑦東部地区

東部地区では、農家の繁忙期を避け冬期間で住民との話し合いを進めている。東部地区の意向として、取組みは各区会・町内会単位で検討しその判断で進めることに決定したため、各区長・町内会長との協議と意向調査を行いました。

主な取組み	<p>各区会・町内会への事業説明・意向調査</p> <p>□鱒浦町内会長との打合せ 日時：令和3年11月5日 回答：町内会役員会を開催し判断する。事業説明等をいただきたい。</p> <p>□豊郷区長との打合せ 日時：令和3年11月5日 回答：役員会で協議の上、回答する。 …役員と協議の結果、現段階では着手せず、必要性が出てきたら進める。(11/24 回答)</p> <p>□稲富区長との打合せ 日時：令和3年11月5日 回答：区会役員と協議の上、回答する。 …現段階では地域の連携が取れているため着手しない。必要性が出てきたら進める。(11/24 回答)</p> <p>□藻琴町内会長との打合せ 日時：令和3年11月9日 回答：町内会役員会で協議の上、回答する。 …地域の関係者を集め、事業説明と協力依頼をおこなうこととなった。</p> <p>□山里区長・山里クラブ会長との打合せ 日時：令和3年11月5日 回答：現段階では地域の連携が取れているため着手しない。必要性が出てきたら進める。</p> <p>□昭和区長との打合せ 日時：令和3年11月10日 回答：現段階では地域の連携が取れているため着手しない。必要性が出てきたら進める。</p> <p>□中園区長との打合せ 日時：令和3年11月11日 回答：現段階では地域の連携が取れているため着手しない。必要性が出てきたら進める。</p> <p>□藻琴町内会長との打合せ 日時：令和3年11月9日 回答：町内会役員会で協議の上、回答する。 …地域の関係者を集め、事業説明と協力依頼をおこなうこととなった。</p> <p>■鱒浦町内会役員 日時：令和3年12月8日 内容：「事業説明」「事業実施意向」 …町内会を中心に取り組むことに決定 …民生委員の参加依頼を行う(12/16 了承)</p> <p>■藻琴町内会役員・民生委員・老人クラブ会長との打合せ 日時：令和3年12月15日 内容：「協議体の設立と構成」「協議体の開催調整」等</p> <p>■藻琴町内会 協議体 ※開催延期 日時：令和4年2月9日 内容：「今後の進め方」「地域課題の意見交換」等</p>
-------	---

主な 取 組 み	■鱒浦町内会 協議体 ※開催延期 日時：令和4年2月10日 内容：「鱒浦町内会としてできることを考える」等
	□鱒浦町内会長との打合せ 日時：令和4年3月4日 内容：「協議体の開催について」 ※4月以降に開催延期
	□藻琴町内会長との打合せ 日時：令和4年3月9日 内容：「協議体の開催について」 ※4月中旬以降に開催延期

⑧南部地区

南部地区では、農家の繁忙期を避け冬期間で住民との話し合いを進めている。前年の話し合いで抽出された課題等も踏まえ、話し合いを開催に向け調整を行った。

主な 取 組 み	□地区連会長との打合せ 日時：令和3年10月7日 内容：「地域の課題解決に向けた話し合いの開催」「今後の進め方」等
	□地区連会長との打合せ 日時：令和3年11月18日 内容：「地域の課題解決に向けた話し合いの協議内容」「協議体設立」「今後の進め方」等
	■南部地区「地域の課題解決に向けた話し合い」 ※開催延期 日時：令和4年1月28日 内容：「相談窓口等の情報提供」「アンケート調査以外の地域課題（意見交換）」「協議体の設立検討」等
	□地区連会長との打合せ 日時：令和4年3月17日 内容：「地域の課題解決に向けた話し合いの進め方」「議案内容の確認と修正」等
	■南部地区「地域の課題解決に向けた話し合い」 日時：令和4年3月23日 内容：「相談窓口等の情報提供」「アンケート調査以外の地域課題（意見交換）」「協議体の設立検討」等

⑨西網走地区

西網走地区では、農家の繁忙期を避け冬期間で住民との話し合いを進めている。西網走地区連役員会において、1つの地区連として取り組むのではなく、構成する5つの区会・町内会単位で進めていくことに決定したため、区会・町内会の役員会を訪問し、事業説明と意向確認を行った。

主な 取 組 み	□地区連会長との打合せ 日時：令和3年6月23日 内容：「西網走地区における進め方の検討」「地区連役員会での説明」等
	□西網走地区連役員会 日時：令和3年7月9日 内容：「西網走地区における進め方の検討」「地区連役員会での説明」等 回答：区会・町内会単位で取り組むことに決定
	□西網走地区 区会・町内会役員会の開催意向確認 日時：令和3年7月15日 内容：「事業説明」「役員会での事業説明及び取り組み検討」等 ※全区会が11月以降を希望
	■能取区会との打合せ 日時：令和3年12月2日 内容：「事業説明」「能取区会の事業取り組み意向」「意見交換」等 回答：現段階では地域の連携が取れているため着手しない。必要性が出てきたら進める。
	■二見ヶ岡区会との打合せ 日時：令和3年12月5日 内容：「事業説明」「二見ヶ岡区会の事業取り組み意向」「意見交換」等 回答：区会役員会で協議を行い後日回答。…取り組み実施を決定（12/21）
	■卯原内町内会との打合せ 日時：令和3年11月29日 内容：「事業説明」「卯原内町内会の事業取り組み意向」「意見交換」等 回答：取り組み実施を決定
	■卯原内地区関係団体との打合せ 日時：令和3年12月6日 内容：「事業説明」「卯原内町内会との打合せ結果」「意見交換」「協力依頼」等 回答：卯原内町内会が中心となり協議体の設立及び協議体への参加について…協議体設立及び参加について了承

主な 取 組 み	<p>■平和区会との打合せ 日時：令和4年1月5日 内容：「事業説明」「平和区会の事業取り組み意向」「意見交換」等 回答：区会役員会で協議を行い後日回答</p>
	<p>■嘉多山区会との打合せ 日時：令和3年12月14日 内容：「事業説明」「嘉多山区会の事業取り組み意向」「意見交換」等 回答：区会役員会で協議を行い後日回答</p>
	<p>□卯原内町内会長との打合せ 日時：令和4年3月4日 内容：「協議体の開催について」 ※3月中の開催で調整する。</p>
	<p>□二見ヶ岡区長との打合せ 日時：令和4年3月22日 内容：「協議体の開催について」 ※4月または6月の開催で調整する</p>
	<p>□卯原内町内会長との打合せ 日時：令和4年3月24日 内容：「協議体の開催日程」「協議内容」「構成メンバーへの周知」 ※4月15日開催で決定</p>

⑩桂町地区

桂町地区では、協議体の運営について関係者との話し合いを行い進めている。「買い物弱者対策」を地域課題の1つとしてとらえ、移動販売車カケルの配車を地域課題解決の入り口として進めている。

主な 取 組 み	<p>□桂町地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年7月21日 内容：「桂町住民センター運営委員会（協議体）を通じた事業取り組みの検討」等</p>
	<p>□地区連会長との打合せ 日時：令和3年11月17日 内容：「移動販売車カケルの配車検討」「地区連役員会の開催」「協議体の運営」等</p>
	<p>■桂町地区連役員会 日時：令和4年1月15日 内容：「事業説明」「協議体の運営」「移動販売車カケルの配車検討」「意見交換」等</p>
	<p>■桂町地区合同防災研修 ※開催延期 日時：令和4年2月5日 内容：「意見交換・情報収集」等</p>
	<p>■桂町地区合同防災研修 日時：令和4年3月19日 内容：「移動販売車カケル運行に関するPR」「高齢者お役立ち情報の活用」等</p>
	<p>★「移動販売車カケル」運行チラシの配布 ※4月1日より運行開始 実施：令和4年3月下旬（町内会と連携し、市広報と一緒に配布） 配布：桂町町内会、新桂町町内会</p>

⑪鱒浦地区

鱒浦地区では、地区連を中心に取組みを進められないか継続的に打診を行ってきた。しかし、地区連の会議や事業等、全てが休止している状況のため現段階では取り組むことができないため待つほしいとの回答があった。今後も継続的に相談をさせていただくこととする。

主な 取 組 み	<p>□地区会長との打合せ 日時：令和3年4月2日 内容：「地区連の状況確認」「取組み実施の打診」等</p>
	<p>□地区会長との打合せ 日時：令和3年8月6日 内容：「地区連の状況確認」「取組み実施の打診」等</p>

⑫南東・南西地区

南東・南西地区では、ベースとなる地区連がない地域でもあり取り組みが進んでいない状況である。地域の実情を踏まえ、今後も継続的に地域の関係者へ相談をさせていただくこととする。

⑬潮見地区

潮見地区では、地域の実情を踏まえ2つのエリアで進める。

潮見地区

前年度に協議体が設立され、そこが中心となり協議を重ねている。協議の結果、最初の取り組みとして、地域課題の把握から取り組むこととなり、アンケート調査を実施した。

主な 取 組 み	<p>■協議体 日時：令和3年5月11日 内容：「アンケート調査の実施内容の検討」「地区連役員会での取り組み説明」等</p> <p><input type="checkbox"/>地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年7月1日 内容：「地区連役員会中止に伴う今後の対応」等</p> <p><input type="checkbox"/>地区連会長との打合せ 日時：令和3年7月5日 内容：「アンケート調査内容の確認」「今後の進め方」等</p> <p>★アンケート調査 配布：潮見地区世帯 2, 229通（令和3年8月19日～24日） 実施：令和3年8月末～9月10日 集計：10月中旬～11月中旬 回収：344通（回収率15.4%）</p> <p>■協議体 ※開催延期 日時：令和4年1月18日 内容：「アンケート調査結果を踏まえた今後の取り組み内容の検討」等</p> <p>■協議体 日時：令和4年3月23日 内容：「アンケート調査結果を踏まえた今後の取り組み内容の検討」等</p>
-------------------	---

潮見ヶ丘地区

地域の状況も踏まえ関係者との協議の結果、役員体制の整備等が整い次第申し出るので時間がほしいとの要望があった。今後も継続的に相談をさせていただくこととする。

⑭つくしヶ丘地区

つくしヶ丘地区では、地区の様々な関係機関と協議を行い、生活支援コーディネーターが中心となり協議体の設立を行い、話し合いを進めることとなった。

主な 取 組 み	<p><input type="checkbox"/>地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年4月8日 内容：「事務局長交代に伴う今後の進め方」等</p> <p><input type="checkbox"/>地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年6月16日 内容：「事務局長交代に伴う引継ぎ」「地区連役員への説明」等</p> <p><input type="checkbox"/>地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年7月1日 内容：「地区連役員への説明」等</p> <p><input type="checkbox"/>地区連役員との打合せ 日時：令和3年8月19日 内容：「事業説明」「協議体設立に伴う参加・協力のお願ひ」等</p> <p><input type="checkbox"/>地区連会長との打合せ 日時：令和3年9月6日 内容：「協議体設立に伴う協議」「協力のお願ひ」等</p> <p><input type="checkbox"/>民生委員つくしヶ丘班長区連会長との打合せ 日時：令和3年9月6日 内容：「協議体設立に伴う協議」「協力のお願ひ」等</p> <p><input type="checkbox"/>つくし泉寿会との打合せ 日時：令和3年9月21日 内容：「協議体設立に伴う協議」「協力のお願ひ」等</p>
-------------------	--

主な 取 組 み	<p>■協議体 日時：令和3年10月25日 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「意見交換」「今後の進め方」等</p> <p>■協議体 ※開催延期 日時：令和4年1月27日 内容：「地区の魅力と課題の抽出」「個人や団体を通じて感じている課題について」等</p> <p><input type="checkbox"/>地区連会長との打合せ 日時：令和4年3月28日 内容：「協議体の再開について」等</p>
-------------------	--

⑮駒場地区

駒場地区については、前回打診した際に「現段階では事業の必要性を感じない」とのご意見をいただき取組みを進められていない。今後も根気強く継続して交渉を続けていくこととする。

主な取組み	<input type="checkbox"/> 地区関係者への相談 日時：令和3年10月8日 内容：「取組み実施に向けた状況確認」等
-------	--

⑯天都山地区

天都山地区では、地区連役員会を協議体に位置付け、取組みを進めている。抽出された地域課題の中から最初に取り組み課題として地区独自のゴミのリーフレットの作成・配布を行うこととなった。

主な取組み	<input type="checkbox"/> 地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年10月7日 内容：「協議体の開催」「協議内容の確認」等 <input checked="" type="checkbox"/> 天都山地区連役員会（協議体） 日時：令和3年10月21日 内容：「高齢者お役立ち情報」「ゴミのリーフレット検討」「地域内事業所との連携」等 <input checked="" type="checkbox"/> ゴミのリーフレットの配布 実施：令和3年12月末 配布：町内会が中心となり、市広報配布に併せて実施。 <input type="checkbox"/> 地区連事務局長との打合せ 日時：令和4年1月6日 内容：「次回の協議体開催」等
-------	--

⑰新町地区

新町地区は、地区の様々な関係機関と協議を行い、生活支援コーディネーターが中心となり協議体の設立を行い話し合いを進めることとなった。

主な取組み	<input type="checkbox"/> 地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年7月27日 内容：「新町地区における生活支援体制整備事業の取組み打診」等 <input checked="" type="checkbox"/> 新町地区「防災研修会」 日時：令和3年10月6日 内容：「地域関係者への事業説明」「協力依頼」等 <input type="checkbox"/> 地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年11月1日 内容：「協議体メンバー構成の検討」「今後の進め方」「協議体の開催検討」等 <input type="checkbox"/> ジニアの家会長との打合せ 日時：令和3年11月18日 内容：「事業説明」「意見交換」「協力依頼」等 <input type="checkbox"/> 主任児童委員との打合せ 日時：令和3年11月19日 内容：「事業説明」「協力依頼」等 <input type="checkbox"/> 町内会長・民生委員等との打合せ 日時：令和3年11月24日 内容：「事業説明」「協力依頼」等 <input type="checkbox"/> 地区連事務局長との打合せ 日時：令和3年11月25日 内容：「協議体の開催の調整」「進め方の確認」等 <input checked="" type="checkbox"/> 協議体 ※開催延期 日時：令和4年1月24日 内容：「事業概要説明」「意見交換」「新町地区における今後の進め方」等
-------	--

・第二層支援協力員スキルアップ研修の実施

実施	未実施
理由	第二層協議体設立に向けたアプローチを行っている段階で、第二層支援協力員の選出までは至っていないため。

(3) 地域状況の把握

①エリア圏域別の基礎情報の収集

第二層協議体設立に向けた取組みを進める上で、地域の把握を目的に、基礎情報の収集を行い地域アセスメントにまとめている。

取組み方法	第二層づくりの取組みを進めるにあたり、地域の基礎情報の収集を行い、網走市と連携し「地域アセスメントシート」を作成。 ※「地域アセスメント」は、取組みを進めている地域毎に随時作成。
活用方法	第二層の取組みを進めるにあたり、地域の基礎情報の共有ができるよう提供した。

②地域ケア会議等への参加と情報収集

地域包括支援センターと連携を図りながら、地域ケア会議へ参加し、個別ケースの「ニーズ把握」、地域内での「課題解決」に向けた取組みを行いました。

実施	■地域包括支援センターリンク：3件
----	-------------------

③エリア圏域内の課題把握

第二層づくりの取組みと併せて、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行いながら課題把握を行った。

調査方法	■聞き取り調査 ■アンケート調査 ■ワークショップ
------	---------------------------------

④買い物弱者対策の検討

各地区での取組みを進める中で、地域課題の抽出を行い、次のとおり取組みを行った。

実施	誰もが健康で安心して暮らし続けることのできるまちづくりを目指し「網走市」と「生活協同組合コープさっぽろ」が両者の連携・協働を行う、包括的連携協定（令和3年6月9日）を締結。網走市と連携とりながら「買い物弱者対策」として、地域課題で買い物困難が多い地域と連携し「移動販売車カケル」配車調整の協議を進めている。 調整地区：3地区（向陽ヶ丘地区、桂町地区、鱒浦地区） 【移動販売車カケルの配車に関する打合せ】 日時：令和4年2月2日 参加：コープさっぽろ移動販売車担当者、網走市（高齢者福祉係）生活支援コーディネーター ※配車に関する協議を行い、4月1日から「向陽ヶ丘地区」「桂町地区」「鱒浦地区」への配車が決定した。
----	---

⑤高齢者の社会参加促進

生活支援体制整備事業における地域課題の抽出を行う中で、「担い手不足」に関する課題が多く出ている状況である。本事業が進める「介護予防」と「生活支援」の観点も踏まえ、高齢者の社会参加促進を図るため、次のとおり活動を行った。

実施	■網走市ボランティアセンター ボランティア登録の促進及びリスト化 広報誌やSNS等を活用し、ボランティア活動の周知や登録の周知を行った。 また、登録ボランティアへのスムーズな活動斡旋につなげられるよう、特技等のリスト化を行った。 ■高齢者等の社会参加促進と生活支援の充実を図るための仕組みの1つとして、社協独自事業として「日常生活のちょっとしたお手伝い事業」の立上げを行った。 事業開始：令和3年6月1日～
----	---

⑥地域課題の解決に向けた検討

実施	第2層を基盤に、地域の関係者との話し合いを行い、関係機関と連携を図りながら地域課題の抽出及び解決方法の検討を行った。
----	--

(4) 社会資源の把握

① (仮称) 高齢者お役立ちマップの作成

齢を重ねても住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、高齢者が「有効活用できる」「参加できる」社会資源の情報等を掲載した冊子を作成し、自助力の向上及び生活支援体制整備事業が目指す「介護予防」と「生活支援」の促進を図りました。

名 称	高齢者お役立ち情報 第1班 (全42ページ/カラー印刷)
経 過	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域福祉会議 事務担当者会議・本会議 (令和2年8月上旬) ② 第1回作成会議 (令和2年12月21日: 8名出席) ③ 事務段階で情報を集約・叩き台を作成 (令和2年12月中旬~令和3年3月上旬) ④ 第2回作成会議 (令和3年3月12日: 9名出席) ⑤ 第3回作成会議 (令和3年6月23日: 8名出席) ⑥ 地域福祉会議 事務担当者会議・本会議 (令和3年7月8日) ⑦ 第4回作成会議 (令和3年8月4日: 8名出席) ⑧ 地域福祉会議 本会議 (令和3年8月下旬) ⑨ 印刷発注準備・発注・配布準備 (令和3年8月下旬~9月下旬) ⑩ 配布開始・ホームページ掲載 (令和3年10月1日)
内 容	<p>1. 高齢者に役立つ情報をまとめた冊子の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生活支援体制整備事業PR・自助力の大切さ (2) 各種情報 (令和3年7月1日時点の情報) <ul style="list-style-type: none"> ☐ 「生活に役立つ」 (43件) ☐ 「相談の場」 (20件) ☑ 「運動・健康づくり」 (12件) ☑ 「社会参加・集いの場」 (21件) (3) スマートフォンを使って情報や地図の見方 (説明) (4) 地域支え合い推進員 (生活支援コーディネーター) の役割 <p>2. ホームページにマップ作成 (Google マップを活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※社協ホームページ「生活支援体制整備事業」内に掲載。 ※スマートフォンでQRコードを読み取り情報や地図がみられる。
印刷部数	10,000部

Ⅱ. 相談支援事業の推進

1. 生活困窮者相談支援

(1) 生活困窮者自立相談支援事業の受託運営

当事業は平成26年度から受託しており、令和3年度新規の相談件数は79件で、令和2年度の58件に比べ21件の大幅な増加となりました。新型コロナウイルス特例貸付において、総合支援資金の再貸付を行う際には自立相談支援機関の相談支援が必須とされたことによります。

相談は、コロナの困窮相談に加え、高齢の家族に対する見守り、孤独感からの自殺念慮や長期ひきこもり、刑務所を出所された方からの生活相談など多岐にわたっています。

	新規相談内容											
	家計	負債	就労	教育	健康	介護	近隣 トラブル	ひき こも り	住居	家族 問題	その 他	計
令和元年度	28	5	4	2	2	1	1	0	4	4	5	56
令和2年度	46	0	4	0	0	2	0	0	2	4	0	58
令和3年度	58	5	3	0	5	2	0	1	1	3	1	79

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により休業等で収入が減少した世帯への貸付事業の受託運営（北海道社会福祉協議会貸付）

- ①緊急小口資金貸付実績 57件 10,900,000円（前年度91件 16,200,000円）
- ②総合支援資金貸付実績 89件 47,150,000円（前年度59件 26,634,000円）

(3) 生活福祉資金及び総合支援資金貸付事業の受託運営（北海道社会福祉協議会貸付）

- ①緊急小口資金貸付実績 1件 100,000円（前年度0件）
- ②福祉資金貸付実績 1件 167,000円（前年度0件）
- ③教育資金貸付実績 1件 540,000円（前年度2件 4,657,000円）

(4) 福祉援護資金貸付事業の実施

- ①福祉援護資金貸付実績 12件 210,000円（前年度26件 353,000円）
令和2年度より生活費緊急支援資金とボランティア援護資金は統合されました。

(5) 安心サポート事業の実施

- ①令和3年度実施実績 4件 70,707円（前年度0件）
令和3年度より、生活困窮により医療費、食料購入費、光熱水費等が負担できない方に対しご本人に代わってお支払いする安心サポート事業をはじめました。

2. 権利擁護

(1) 成年後見相談支援事業の受託運営

○市民後見人支援活動

市民後見人連絡会議を開催し、担当ケースの支援について情報交換、意見交換しました。

○市民後見人フォローアップ研修会・ケース検討会議の開催

市民後見人フォローアップ研修会

日時	テーマ	場所等	出席者
4月14日	防災について	エコーセンター	16名
10月13日	空き家対策と不動産について	エコーセンター	20名
11月10日	認知症の人の終末期支援について	エコーセンター	20名

12月9日	裁判所に報告書を提出する際の留意点	エコーセンター	15名
1月26日	「後見終了時の手順」	エコーセンター	8名
3月9日	対人援助に携わる心得	エコーセンター	27名

ケース検討会議

日時	議題	場所等	出席者
7月14日	後見業務を終了して	福祉センター	9名
8月25日	医療同意について	福祉センター	10名
10月5日	コミュニケーションの方法論	福祉センター	8名
11月24日	生活保護について	福祉センター	12名
12月22日	市民後見人とは何か	福祉センター	9名
1月12日	「死後事務を終えて」	エコーセンター	11名
2月18日	不動産の処分について	福祉センター	11名
3月10日	7年間の支援活動を振り返って	福祉センター	8名

○相談支援事業

相談件数44件（前年度61件）

相談内容内訳（複数回答）

相談内容	制度概要	申立手続	金銭管理	財産管理・処分	その他	合計
件数	22	14	12	4	25	77

○運営協議会の開催

回数	開催日	主な案件・協議事項
第1回	6月 (書面)	・新任委員の紹介 ・令和2年度成年後見相談支援事業 事業報告・決算報告
第2回	8月18日	・網走家裁からの市民後見人候補者推薦依頼について
第3回	12月6日	・新規申立て案件に係る後見人等候補者推薦について
第4回	2月7日	・市長申立て案件に係る後見人等候補者推薦について
第5回	2月25日	・市長申立て案件に係る後見人等候補者推薦について
第6回	3月22日	・令和4年度成年後見相談支援事業事業計画・予算について

○研修会等の参加

日時	講演会	場所等	出席者
5月28日	第152回市町村職員を対象とするセミナー 「成年後見制度利用促進における体制整備の 実践～中核機関の整備パターンと具体的実践 報告を通じて～」	Zoom	山西
8月2日	令和3年度「地域における権利擁護システム構 築セミナー」	Zoom	山西
8月17日 ～ 9月28日	令和3年度「北海道社会福祉協議会・成年後見 センターバックアップセンター市民後見人養 成講座」	Zoom	山西
9月27日	令和3年度日常生活自立支援事業専門員実践 力強化研修会	Zoom	山西

11月19日	令和3年度美幌町市民後見人登録者 フォローアップセミナー 【テーマ】「わたしの支援は大丈夫!？」	美幌町	講師：大津山 参加：山西
12月2日	家事関係機関との連絡協議会 成年後見制度資料促進基本計画における中核 機関設置について	釧路家裁 北見支部	山西
1月12日～ 2月24日	令和3年中核機関・成年後見センター等 担当職員スキルアップ講座	オンデマンド 動画配信	山西
2月26日	「大阪モデル」の市民後見人養成・活動支援か ら今後の成年後見制度を考える	Zoom	山西
3月25日～ 3月28日	令和3年度「成年後見制度推進バックアップセ ンター市民後見人受任時研修」	DVD研修	山西

(2) 日常生活自立支援事業の受託運営(道社協委託事業)

福祉サービス利用援助事業として業務を行ない、当年度で6年目を迎えました。

○契約者数

年度開始時契約者数	新規契約	年度末時契約者数
5名	1名	3名

○自立生活支援員登録者数 4名(令和4年3月31日現在)

3. その他

(1) 災害見舞金の支給

歳末たすけあい募金の助成金を財源に、火災による被災者に対して見舞金を支給する事業を行なっていますが、当年度は実績がありませんでした。

支給実績：火災0件(前年 火災1件・対象3件、80,000円)

(2) 身体障がい者生活器具給付事業の実施(ストーマ等)

行政制度にない隙間の部分を補完することを目的として実施しています。

給付実績：ストーマ10件(前年度12件)1人10,000円(合計100,000円)

Ⅲ. 在宅福祉事業の推進

(1) 指定訪問介護事業所の経営

○訪問介護事業、訪問型サービス事業(第1号訪問介護)

サービス提供実績(延訪問数)

介護度 年総計	事業 対象	要支援		要 介 護					計	1日 平均	平均 介護 度
		1	2	1	2	3	4	5			
31	888	605	874	1,994	1,860	853	1,242	4	8,320	22.7	1.9
令和2	887	552	977	1,001	2,065	1,026	1,170	5	7,683	21.0	2.0
令和3	849	339	1,156	797	1,500	955	710	102	6,408	17.6	1.9

○障がい者福祉サービス事業(指定居宅介護、移動支援サービス事業)

サービス提供実績

年度	延訪問数(回)	1日平均(回)
平成31年度	1,418	3.9
令和2年度	1,612	4.4
令和3年度	661	1.8

(2) 指定地域密着型通所介護事業所の経営

- 地域密着型通所介護事業、通所型サービス事業（第1号通所介護）
サービス提供実績（延人員）

年総計	介護度 事業 対象	要支援		要介護					計	1日 平均	平均 介護 度
		1	2	1	2	3	4	5			
平成31年度	649	228	444	607	827	577	217	90	3,639	14.2	1.9
令和2年度	750	212	556	552	669	479	236	66	3,520	13.8	1.8
令和3年度	581	66	494	733	838	194	110	48	3,064	11.7	1.6

- コロナ禍が要因で新規受入れが少なく、利用者数が大幅に減少しました。
○網走市老人デイサービスセンターの施設について、指定管者理制度に基づく管理業務を行いました。

(3) 指定共同生活援助(外部サービス利用型)の経営

- 「グループホーム ひまわり」サービス管理責任者を中心に適切に運営を行ないました。
サービス提供実績 ※現入居者5名（入居定員7名）

年度	延利用日数 (日)	平均利用者数 (人)
平成31年度	2,559	6.99
令和2年度	2,179	5.97
令和3年度	1,866	5.11

- ミーティングの実施

期日	参加者	内容
毎週金曜日	入居者、関係者	参加者それぞれの生活状況の確認や助言等を行う。

- 世話人の質の向上を図り、入居者のニーズを踏まえた自立支援の提供に努めました。
○内部研修を実施しました。
○年2回の避難訓練を実施しました。

(4) 受託事業

- 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業の受託運営（シルバーハウジング事業）
生活援助員による生活相談など日常生活援助を行いました。入居数 27世帯（R4.3.31現在）
利用者のニーズを踏まえた生活指導に努めました。
○家族介護者交流事業（家族介護者リフレッシュのつどい）
コロナ禍によって開催が危ぶまれましたが、参加定員を半減し、マスクの着用、手洗い、
手指の消毒、3密の回避、ソーシャルディスタンスを徹底して開催しました。

期日	場所	参加者
11月20日	総合福祉センター	30人（家族13、要介護者1、コスモス会4、社協6、包括2、市4）

IV. 法人運営事業の推進

1. 社協事業

役職員等が本会の「経営理念」を常に念頭に置き、この理念に基づく事業の推進を図りました。

(1) 理事会・評議員会の定例開催等

安定した事業経営や業務の円滑な執行に資するために、理事会等を開催しました。

また、社会福祉法人制度改革により必置となった評議員会を適時開催し、事業運営の透明性の向上に努めました。

月日	名 称	主 な 案 件	出席者
5月25日	決算監査会	令和2年度決算監査	監事2名
6月3日	第1回理事会	地域福祉推進事業助成金事業報告について、外部監査結果報告、社会福祉充実計画の策定について、令和2年度事業報告、令和2年度収支決算報告、令和2年度監査報告、定時評議員会の招集事項について	書面決議
6月25日	第1回評議員会	令和2年度事業報告、令和2年度収支決算報告、令和2年度監査報告	評議員 13名他
6月25日	第2回理事会	会長・副会長・常務理事の選定について、補償契約及び役員等賠償責任保険契約の締結について	理事13名 監事2名
9月27日	第3回理事会	経営分析報告、会務報告、新型コロナウイルスワクチン接種に伴う特別休暇の新設について、諸規程の一部改正について、網走市社会福祉協議会会長表彰について	書面決議
10月19日	第1回監査会	上半期の運営状況について、総務課の業務監査及び会計	監事2名
11月25日	第2回監査会	在宅福祉事業の業務監査及び会計監査	監事2名
12月7日	第4回理事会	会務報告、監査報告、歳末たすけあい募金助成事業について他	理事10名 監事1名
2月28日	第3回監査会	地域福祉事業の実施状況、令和3年度介護事業決算見込みについて	監事2名
3月15日	第5回理事会	会務報告、監査報告、就業規則・給与規程等の一部改正、内部通報者保護規程の制定について、事務局規程の一部改正について、令和3年度補正予算案、令和4年度事業計画案、令和4年度収支予算案、令和3年度第2回評議員会の開催について他	理事12名 監事2名
3月29日	第2回評議員会	令和3年度補正予算案について、令和4年度事業計画案について、令和4年度収支予算案について	評議員 12名他

(2) 道社協・管内社協の会議等

オンライン・書面決議等が増加しました。

月日	事業名	会場	参加者
8月	管内市町村社協連絡会議総会	書面決議	
9月	北海道市町村社協会長会総会	書面決議	
9月27日	全道市町村社協事務局長連絡会議	Zoom オンライン	山崎事務局長
10月14日	オホーツク圏域ボランティアフォーラム	エコセンター	松野主任
1~3月	課題別オンライン研修会(全3回)	Zoom オンライン	庭山係長他
3月17日	オホーツク管内市町村社協会長事務局長研修会	エコセンター	鬼塚会長、山崎局長

(3) 永年役員・評議員功労者の表彰(社協会長表彰)

社会福祉事業の推進に寄与された方に対して、その功績を称えて顕彰致しました。

役員等表彰	向井 千秋
-------	-------

1名(敬称略・順不同)

(4) 地域福祉事業功労者の表彰(社協会長表彰)

社会福祉事業の推進に寄与された方に対して、その功績を称えて顕彰しました。

永年ボランティア活動	南とも子、綿谷良子、神田愛子、今野敦子、鈴木寿一
------------	--------------------------

5名(敬称略・順不同)

(5) 情報開示

①社協情報紙「ふれ愛めーる」を全戸配布しました。

発行日	機関紙名	付記
7月20日	ふれ愛めーる第115号	全戸配布
3月20日	ふれ愛めーる第116号	全戸配布

②事業計画、事業報告、収支予算、収支決算を機関紙及びホームページに掲載しました。

③FMあばしりにて月1回「社協のほっと便」を放送しました。(毎月第1木曜日)

④ホームページおよびFacebookを更新しました。(Facebook新規投稿114件)

(6) 経営基盤の強化

①社会福祉充実残額の算定と計画立案の要否確認

社会福祉充実残額算定の結果、計画立案の必要がありませんでした。

②中期財政計画の検討(職員処遇改善費、退職金積立、事業人件費、固定資産等更新)

当初の計画どおり、退職金等を積立てました。

③会員会費制度の整備充実

○会員会費実績

年度	一般会員	特別会員	賛助会員	合計
31	1,102,300円	378,000円	675,500円	2,155,800円
R2	1,108,500円	389,000円	676,500円	2,174,000円
R3	1,095,800円	390,000円	676,500円	2,162,300円

④共同募金配分金等の寄付金による事業の適正な実施

赤い羽根共同募金助成金および歳末たすけあい募金を活用して事業を実施しました。

○赤い羽根共同募金助成金 720,791円(うち、40,000円返還)

内容 広報啓発事業 680,791円(前年度 772,599円)

ふれあいクリスマスパーティ支援事業 40,000円(返還)

○歳末たすけあい募金助成金 913,221円(前年度1,279,497円)

内容

	事業名	金額	備考
1	ボランティアセンター運営事業	400,000円	
2	被災者世帯見舞金贈呈事業	150,000円	
3	広報啓発事業	138,221円	
4	日常生活のちょこっとお手伝い事業	60,000円	
5	ふれ愛ひろば網走開催事業	90,000円	全額返還
6	事務経費(共同募金会へ)	75,000円	

⑤高額寄付者への感謝状贈呈(社協会長顕彰) 令和3年度 4件(前年度2件)

⑥職員処遇改善計画の維持管理に努めました。

(7) 法令遵守の徹底

(8) 備品貸出事業

地域福祉の推進を目的として、地域の行事やイベントで活用可能な備品の貸し出しを行ないました。

予約いただいたがキャンセルになるケースもありましたが、当年度は会議や講習会等で使用する備品の貸し出し等が増加しました。(前年度26件)

○利用実績

件数	主な貸出備品/利用者
32	プロジェクター・スクリーン、ワイヤレスマイク・アンプ/ふれあいの家、団体

(9) 事務局体制の整備

- ①事務局会議を定例開催しました。
- ②事業内容・規模に応じた職員体制の確保に努めました。
- ③職員の資質向上のため職員研修の強化に努めました。
- ④独自研修を開催しました。
- ⑤Zoom等オンラインにて各種研修会等に参加しました。

2. 受託事業

(1) 網走市総合福祉センターの指定管理受託

駐車場が狭いという課題があり、良い解決策がないまま利用者の皆さまにご不便をおかけしているところですが、指定管理者制度に基づき管理者として、適切に管理しました。

国の緊急事態宣言を受けて、部屋の貸し出しを中止した期間が前年度より増えたこともあり、昨年度に引き続き利用者数が減少しました。(貸出中止：令和3年5月16日～6月20日、8月27日～9月30日)

なお管理にあたっては、利用者の検温を実施した他、消毒液の設置や、部屋の使用後の消毒作業を徹底する等、感染症予防に努めました。

項 目		31年度	R2年度	R3年度
団 体	団体数	688	493	655
	人 数	8,843	5,233	5,599
個 人	老 人	5,728	5,023	3,839
	母 子	5	0	0
	身 障	3,093	1,841	1,192
	精神障がい等	233	224	138
	小 計	9,059	7,088	5,169
合 計		17,902	12,321	10,768

○事業等

事業名	日にち	内容
福祉センター感謝祭	中止	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
消防訓練 (避難・通報・消火訓練)	6月25日 11月8日	網走市老人デイサービスセンター、網走市子ども発達支援センターと合同で実施

(2) 網走市老人デイサービスセンターの指定管理受託

(3) 網走市福祉バス運行管理事業の受託

項 目	31年度	R2年度	R3年度
運行回数	93	12	48
利用人員	1,952	222	1,383

※当年度はワクチン接種会場送迎で多くの利用がありました。(44回、1,304人)

(4) 団体事務の運営

各団体役員および構成員との連携を図り、事務等について適切に行ないました。

(●印は市からの業務委託団体)

1	●網走市町内会連合会	6	網走市暴力追放推進協議会
2	●網走市老人クラブ連合会	7	●網走市連合遺族会
3	●網走地区防犯協会	8	●網走市身体障害者福祉協会
4	網走地区暴力追放推進協議会	9	●くるみ里親会網走支部
5	●網走市防犯協会	10	網走市共同募金委員会

